



学校だより 青い鳥

平成29年度11月号
さいたま市立上落合小学校
平成29年11月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



努力の本質

校長 藤澤 太郎

秋の長雨と言ったらいいのか？途中で台風が二つも発生し急に寒くなったりして気候が安定しませんね。いわし雲と高い青い空がたまに見られ、秋らしい日もありますがけれどわずかの日数でした。学校のキンモクセイは、橙色の良い香りで年々堂々としてきたようです。雨で外に出られない日は、子ども本来の（休み時間は）校庭に響き渡る声がインドアでワイワイ！となります。これはこれで良いものです。子どもは時間と空間に柔軟に対応する天才ですね！

今月は、努力することについて考えてみます。昔から、「努力」と言うと、有名なスポーツ選手や実業家のサクセスストーリーが紹介される度に、「彼は天才だ！」に続いて、努力することは大切だ！良いことだ！といった、一つの盛り上がりがあり、そのニュースや話をした相手と価値観を共有したような気になります。また、よく言われるのは、努力をしている最中は、人は皆夢中で、がむしゃらで、結果を見て自身の努力の実感が持てる、というような話です。これはこれで、ほぼそういうことだろうなあとは思いますが、問題は、努力をしても結果が伴わない場合です。こんな経験をすると、努力はその人にとって意味のないものになってしまう恐れが生じて、その後努力しなくなるのでは？と、ちょっと心配になったりします。大きく考えると「努力」とは、おおよそ以上のようなものでしょうか、

恥ずかしい話です。僕は記憶することが大嫌いで、それよりは理科の実験だったり歌を歌ったりすることが好きでした。記憶する作業はとても苦しいし、それをとても楽しくできません。当時の自分の頭では、こうした学習過程で必須のルーチンが「努力」として理解していました。しかし、大人になってこのような自分の特性を客観的に考えてみると、社会科の年号覚えや理科の元素記号等々、考えの基となる事柄について、嫌いだからと言って覚えられないのは実に愚かなことだと思ふようになりました。つまり、感覚的に物事を捉えることが（で）得意になってしまったということと、おおよそ「努力」という行為や概念とは程遠いところで生きていたのかな？と思うわけです。

「努力」できることの獲得には、考えの基をつくる働きを理解することの他に、たくさんの要素があることをおさえておく必要があると思います。① やりたいこと（目標）を定める ② 時代を読む ③ メタ認知 ④ 努力のスタイルを決める などがおおよそ考え付くところです。このうち、② 時代を読む ことは、これから大変重要なことになってくると思われれます。つまり、以前にもお話した、この先社会構造が大きく変わってくることが予測され、それに伴って様々なものの価値が変容する可能性があるからです。勿論自分にとって最善の努力であり、努力したことがしっかりと実感できるようになるには、との考えです。また、④ 努力のスタイル は、これも重要です。子どもの宿題を例にすると、帰って直ぐ家のコタツでやってしまうのか？夕食をとってから机に向かってやるのか？あるいは、習い事や塾の日程がタイトに詰まっているのであれば日により考えていくのか？ということです。あるいは分量だけではなく質についてどの程度やるのか？ということもスタイルの内容であると考えます。スマートか武骨かということではなく、内容で判断していくことが大切と考えます。さて、努力すること（嫌なこと）が未来に続いているとは知らず、ひたすら外遊びをしていた少年はどうなったのでしょうか？動植物や山のことは少しは詳しくなったようです。その結果を見極めるにはもう少し時間が必要ですかね、。

6年生の修学旅行に行ってきました。子どもが考えた所期の目標・目的は概ね達成できたと見えて、皆笑顔で満足した旅行になったようです。特に、改装を終えた東照宮の見学では、時代に合わせた色の使い方に子どもたちは感動しきり、この学年の一層成長した様子を見ることができて、とてもうれしくなりました。日が短くなり寒くなって参りますが、今月もがんばっていきましょう。

学校教育目標

あかるく なかよく たくましく